

所管課		生涯学習部生涯学習課															
施策の大綱	まちづくりの目標(章)		施策分野(節)		施 策												
	第3章 元気創造都市		01 生涯学習		01 学習がまちづくりにつながる基盤を整える												
	事業：生涯学習基盤事業												整理番号	1103			
目的	①市民が容易に生涯学習情報を得ることができるようにする。②市民が学習で得た成果を地域社会に活かせるようにする。③市民が生涯学習を行うにあたっての悩みやとまどいに応える。④現代的な課題(社会に求められる課題、今すぐ取り組むべき課題など)を市民が学習できるようにする。																
目標	施設の設置目的を効果的に達成しながら、利用者にとって快適で適切な施設運営を図る。また施設予約システムも課題や問題点を整理する。																
事業費・財源	事業費(決算額)(千円)		86,872		コスト情報・評価	総コスト(千円)		186,251		総合評価	B	妥当性		A			
	財源内訳	一般財源		67,041		内訳	事業費		86,872			効率性		B			
		国府支出金		0			人件費		14,236			有効性		B			
		地方債		0			公債費		85,143			市民の学習の場としてまた交流の場として市民交流センターをよりよく活用いただけるよう検討を続けていく。					
		その他特定財源		19,831			一人あたり(円)		1,650								
							世帯あたり(円)		3,950								
貢献度	施策に対する事業貢献度		A		根拠	市民交流センターには多くの利用があり、生涯学習活動の拠点となっている。											
今後の方向性	的確な維持管理を行い、施設の設備の更新や修繕を偏りなく継続する。																

事業優先順位		1		細事業：市民交流センター管理運営事業						整理番号		01							
目的		館の施設維持管理・改善を図り、様々な学習ニーズに応えることができ、利用しやすい施設づくりに努める。館の設備を良好な環境に保ち、館利用者等の快適な環境を維持する。																	
目標		市民が快適に市民交流センターを利用できるよう維持管理を行う。																	
事業実施主体		直営		事業開始年度		平成14年度		根拠法令											
事業費・財源					平成24年度		比較		コスト情報・従事職員数					平成24年度		比較			
	事業費（決算額）（千円）				84,625					総コスト（千円）				180,830					
	財源内訳	一般財源				64,794				内訳	事業費				84,625				
		国府支出金				0					人件費				11,062				
		地方債				0					公債費				85,143				
		センター使用料				8,175					一人あたり（円）				1,602				
		駐車場使用料				5,455				世帯あたり（円）				3,835					
		職安管理負担金等				6,201				参考	職員数（人）				1.20				
											再任用職員数（人）				0.70				
今後の方向性		引き続き市民交流センターの複合施設としての機能が十分に発揮できるよう維持管理を継続する。																	
評価	妥当性		効率性		有効性		対象者		平成24年度利用者108,471人										
	A		B		B														

